

令和5年度保健師助産師看護師実習指導者講習会 募集要綱

独立行政法人地域医療機能推進機構

1. 目 的

看護基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、必要な知識・技術を習得する。

2. 目 標

- 1) 看護教育における実習の意義、目的を理解する。
- 2) 教育活動の原理、方法を学び、学生の個別性及び集団の特性に応じた教育の必要性を理解する。
- 3) 実習指導を計画的、効果的に実践するための基礎的知識、技術を習得する。
- 4) 実習指導者の役割を理解し、指導者としての自己課題を明確にする。

3. 研修方法・期間

本研修は、Webex Meetings を用いたオンライン研修+対面研修です。

前期：令和5年11月28日（火）～12月22日（金）

うち令和5年12月11日（月）～12月22日（金）対面研修

後期：令和6年1月17日（水）～2月2日（金）

うち令和6年1月22日（月）～2月2日（金）対面研修

時間：9時30分～16時30分

※土、日、祝日に講義が入ることもあります。また、研修期間中に日程・研修開始時間及び終了時間を変更がある場合があります。

4. 研修場所

オンライン研修：施設が指定する場所

対 面 研 修：独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO 研修センター
東京都新宿区新宿 5-5-10

※感染症等により、対面研修がオンライン研修となる場合があります。

オンライン研修では、カメラ・マイク機能付きパソコン及びインターネット環境が必要となります。

5. 授 業 料 70,000 円

※独立行政法人地域医療機能推進機構関連施設の受講者は除く。

※振込手数料はご負担ください。

※個人都合によるキャンセルの場合、納入された受講料は返金いたしません。

6. 募集定員

40名程度

7. 受講要件

- 1) 看護師等養成所の実習施設において、実習指導の任にある者、または実習指導者となる予定の者
- 2) 通算勤務経験3年以上ある保健師、助産師、看護師

8. 受講者の選考

- 1) 応募者が定員を超過した際には、様式2の「受講動機レポート」を基に、下記の「保健師助産師看護師実習指導者講習会 受講者選考基準」にて評価し、その合計点で判定する。
- 2) 選考結果は、応募者全員に文書で通知する。

保健師助産師看護師実習指導者講習会 受講者選考基準

＜評価項目＞

評価項目	評価の視点
課題認識	学生・新人指導に関連した課題が明確である。
受講動機	受講動機・意欲が明確である
文章構成	文章が明確で分かりやすく、段落が適切で、誤字・脱字がない 書式が適切である

＜評価基準＞

3段階評価	評価基準
3点	大変良く述べられている
2点	おおむね述べられている
1点	不足している

9. 講習科目

別表のとおり

10. 修了要件

原則、全日程の出席を前提とし、全時間数の5分の4以上出席していることを終了要件とする。修了要件を満たした者には、修了証を交付する。

11. 提出書類

- 1) 実習指導者講習会申込書（様式1）
- 2) 受講動機レポート（様式2）
- 3) 勤務証明書（様式3）

※様式1、2、3は、独立行政法人地域医療機能推進機構本部研修センターホームページからダウンロードして使用すること。

12. 提出期間 及び 提出方法

- 1) 提出期間 令和5年8月28日（月）～令和5年9月28日（木）10時まで
- 2) 提出方法 様式1はExcel形式、様式2はWord形式、様式3はPDF形式を下記へメールにて提出すること。

医療・看護研修課共有メール：npeer@ntc.jcho.go.jp

※申込書類が不備の場合には応募時のメールアドレスまたは申込書記載の連絡先へ問合せすることがあります。

※医療・看護研修課共有メールからの返信を以って申込を完了とする。

別表

区分	内容	科目	目標・内容	単位数	時間数
基礎分野	教育の基盤	教育原理	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 1) 教育の本質、目的 2) 教育活動の特性	1	15
		教育方法	教育方法の基本的知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 授業の形態、教育方法および教材の活用 2) 教授－学習過程の理解 等	1	15
		教育心理	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基本知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 成長発達に伴う学習者心理の理解 2) 学習過程における心理 等	1	15
		教育評価	教育評価の基本的知識及び必要な理論を学ぶ。 1) 教育評価の目的と方法 2) 講義・演習・実習評価の方法 等	1	15
専門分野	看護論	看護論	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明らかにする。 1) 看護の機能と役割 2) 看護場面と看護観の再構成 3) 健康の概念と健康支援 4) 倫理的課題とその対応方法 等	1	15
		看護教育課程	看護師養成所の各教育課程の概要を学び実習指導につなげる。 1) 教育課程の基礎知識 等	1	15
	実習指導の基盤	実習指導方法論（評価を含む）	実習指導案について理解し、教授方法を学ぶ。 1) 実習指導の方法 2) 実習評価の意義と方法 等	2	30
		実習指導方法演習	実習指導の展開の実際を学ぶ 1) 実習指導案の作成及び評価（課程別、学年別、専門領域別） 2) 実習評価の方法 等	2	60
合計				10	180